

## 苫小牧消費者協会会長インタビュー

詳細 市民生活課 ☎(32)6304

創立60周年を迎えた苫小牧消費者協会会長の山内 <sup>やまうち さちこ</sup> 幸子さんに、協会の歩みと消費環境の変化を伺いました。

### 1 創立60周年を迎えられた率直な感想は？

創立60周年を迎え、支えてくださった会員・賛助会員・関係機関・地域の皆さま、そして歴代・現理事の方々に深く感謝します。この節目を、次の世代へ確かなバトンを渡す「新たな出発点」と位置付けています。

### 3 協会に関わったきっかけと、活動の中で最もやりがいを感じた場面は？

買い物袋づくりに携わったことがきっかけです。200枚以上作り、多くの方が使っているのを見かけたときのことは、今も印象に残っています。活動を通じて学びやつながりが増え、「誰かの役に立っている」と実感できることが魅力です。

### 5 現代の消費環境の変化と特に懸念する課題は？

情報化や社会情勢の変化に伴い、消費者を取り巻く環境は常に変化しています。インターネット取引でのトラブルや気候変動などの新たな課題が次々と生まれています。私たちは、最新の情報を提供し、市民の皆さまが賢い消費者として行動できるよう、サポートしていくことが重要だと考えています。

### 7 若年層など、より幅広い世代に消費者問題への関心を高めるには？

若年層には、学校教育やSNSなど彼らの行動様式に合った発信が不可欠です。消費者問題は人ごとではなく、自分ごととして捉えることで、より豊かな生活を送るヒントにもなります。気軽に参加できる学習会もありますので、ぜひ参加していただきたいです。



### 2 創立当時の社会的背景と協会が掲げた設立理念は？

高度成長期に顕在化した消費者問題に対応するため、「消費者の利益保護と生活向上」を合言葉に、道内の先駆けとして誕生しました。以来、学習会や消費生活相談、料理教室などを通じて、安心して暮らせる社会づくりに取り組んできました。

### 4 現在、協会が特に力を入れている活動や、その成果は？

米価の高騰や燃料価格の高止まりは、消費者の負担となっています。協会ではJA厚真さんと連携し、安心・安全な米をできるだけ安く提供する取り組みを行っています。その他食品ロス削減の講習会や学習会なども行っています。

### 6 今後の重点課題と目指すべき将来像は？

最も大きな課題の一つは、協会の獲得、特に若い世代の方々の参加を促すことです。活動の核となる担い手の高齢化も喫緊の課題です。長年の活動で培ってきた経験や知識を次世代につなぐためにも、新たな力を求めています。

### 8 一般の消費者の皆さまへ一言

苫小牧消費者協会は、これからも市民の皆さまに寄り添い、安心・安全な消費生活をサポートし続けます。この機会に興味を持っていただけたら幸いです。「消費者問題に関心がある」「地域のために何かしたい」「新しい仲間と出たい」など、きっかけは何でも構いません。少しでも興味を持たれた方は、ぜひ一度、私たちの活動をのぞいてみてください。皆さまのご参加が、苫小牧のより良い未来へとつながります。



## 苫小牧消費者協会のご紹介

苫小牧消費者協会は、消費生活に関する学習会や講習会、啓発活動などを通じて、市民の安心・安全な暮らしを支える団体です。身近な買い物や契約、食品ロスなど、日々の生活に関わるテーマを分かりやすく取り上げています。活動内容や参加方法は、HPでご確認ください。

